

平成 27 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市睦地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

★今年度は、地域の現状から①「新たな担い手の発掘や支援」②「地域の見守りに繋がる取組みを進める」の2点を主項目と捉え、事業展開を行いました。

計画①：地域の担い手や支え手も高齢化してきており、新たな担い手の発掘を支援します。

報告①：特に男性の担い手を発掘する為に男性の料理教室を開催しましたが、地域の担い手として活動したいという参加者はおらず、来年度引き続き担い手を発掘する為の取組みを行っていきたいと考えています。

計画②：近年地域課題が多様化・高度化してきており、地域での見守り体制を構築していきます。

報告②：地域でのネットワーク作りとして、長年「むつみ見守りネットワーク事業」に取り組んできましたが、より地域に根差した事業展開を行う為、次年度に向けた意見交換会を実施しました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

計画①：定期的に保守点検を行います。

報告①：建築物、建物設備、電気、消防設備等、法令に基づき定期的を実施しました。

計画②：定期的に清掃を行います。

報告②：外部業者による定期清掃、職員による日常清掃、地域の有償ボランティアによる外掃除を実施し、維持管理に努めました。

計画③：日常点検を行います。

報告③：安全チェックリストに基づき、夜間帯に職員2名体制で施設内外の巡回点検を行いました。

計画④：屋上植栽の手入れを定期的に行います。

報告④：業者による剪定作業等を2ヶ月に1回実施しました。

★当施設は母子生活支援施設、老人デイサービス、児童発達支援事業・放課後等デイサービスとの複合施設です。

共有部分の管理は相互に協力し、年1回専門の業者の建物検査を受けています。

イ 効率的な運営への取組について

計画①：予算管理は適切に行います。

報告①：法人本部及び経理部門と連携を図り、予算に応じた適切な運営を行うため経費節減、事務量の効率化を図りました。

計画②：物品購入については価格・質を公平に判断します。

報告②：見積り合わせを行い、業者を公平に選定して購入しました。

計画③：省エネルギーに取り組みます。

報告③：節電→館内の使用状況に応じた電灯の使用を心掛け、こまめに消灯をする等節電に努めました。

節水→雨水タンクの活用等、光熱水費の節約に努めました。

計画④：物品のリサイクルに取り組みます。

報告④：封筒の再利用、コピー用紙の裏紙使用などに努めました。

★法人の理念、運営方針、ケアプラザの基本方針に基づき、職員全員が効率的な運営に取り組みました。

ウ 苦情受付体制について

計画①：法人の苦情解決規定に基づき適切に対応いたします。

報告①：法人へのご意見・ご要望・苦情は、受付担当者及び解決責任者からなる苦情解決委員会において対応しました。法人全体での苦情に対しては経営改善会議で共有し、全職員に周知しました。

ケアプラザに対する苦情は、館内にて閲覧出来るように掲示しております。

計画②：苦情申し立て方法を館内に掲示します。

報告②：苦情受付担当者一覧や連絡先を、継続して館内に掲示しました。

計画③：利用者からの意見を受け止めやすくする為、館内にご意見箱を設置し、無記名アンケートを実施します。

報告③：今年度はご意見箱への投函はありませんでした。

利用者アンケートの結果は地域包括支援センター・地域活動交流部門共に館内に掲示しております。

- ・ 苦情解決の仕組み：法人の苦情解決規程に基づきご意見・ご要望・苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員による委員会で適切な対応をします。
- ・ ご意見箱の設置：各部屋にアンケート用紙を設置し、利用者からの要望を受付しやすい環境を整備しております。
- ・ 館内に苦情申立方法（フォロー図）を掲示しております。
- ・ 頂いた苦情やご意見は情報ラウンジに閲覧出来るようなファイルを作り、公表しております。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

計画①：防犯への取り組み：職員による巡回、警備会社との委託契約を継続します。

報告①：警備会社との委託契約継続：機械警備を継続実施。その他に職員が毎日2名体制で館内外を巡回、安全チェック表に記録しました。

24時間稼働の防犯カメラ・出入口のセンサーチャイムによる不審者の来館防止を行いました。

計画②：防災への取り組み：避難訓練の実施、職員研修を行います。

報告②：ケアプラザ全職員で自衛消防組織を作り、毎月火災発生避難訓練を実施しました。その際は、職員だけでなく施設利用をしている来館者にも参加の同意を頂き、合同で避難訓練を行いました。

H27年9月には、南消防署中村町消防出張所から指導を受け、複合施設全館対象の避難訓練を行いました。

計画③：職員研修を行い意識向上に努めます。

報告③：AEDの取り扱い研修 H27年9月
救急対応研修 H27年9月
緊急時受信機取り扱い研修 H27年6、9、12月

計画④：特別避難場所指定施設として物品管理などを行います。

報告④：特別避難場所開設マニュアルの見直しを適宜行いました。次年度も引き続き備蓄品管理及びマニュアルの見直し等各部署から委員を募り、委員会形式で継続します。

物品管理は適切に行いました。H27年度分備蓄品は水・ご飯・パン・簡易トイレが補充されました。

★事故発生時の対応：事故対応マニュアルに沿って法人本部、行政、各関係機関に報告、迅速に対応します。

オ 事故防止への取組について

計画①：事故防止への取り組み：事故発生時には、安全委員会を開催します。

報告①：今年度ケアプラザ内では、安全委員会に諮る事故の発生はありませんでした。

- ・ デイサービスでの事故など法人の他部署の事故については、安全委員会で共有し再発防止委員会の報告を職員に周知したり、ヒヤリ・ハット報告に関しても同様の対応をしています。
- ・ 法人安全委員会開催：毎月法人の経営改善会議開催時に開催します。
- ・ 事故報告、ヒヤリ・ハット報告等を行い、原因究明及び再発防止策を共有し、防止に努めます。
- ・ 各事業部の報告などを朝礼で職員に周知し、意識の向上と防止に努めます。
- ・ 毎月の所長会での市内及び区内の事故報告を職員全員に伝達し、事故防止に努めます。
- ・ ヒヤリ・ハットなどの事例を基に、研修を実施し予防に努めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

計画①：情報漏洩防止への取組みを徹底します。

報告①：年度初頭に、全職員が個人情報漏えい防止チェックシートに取り組み、意識付け及び注意喚起を行いました。

計画②：個人情報保護規程を掲示します。

報告②：館内に法人個人情報保護規程に基づきケアプラザ規定を掲示しました。

計画③：随時、職員研修を行い意識向上に努めます

報告③：全職員に対して、個人情報保護やプライバシー保護に関する研修を行いました。

計画④：FAX 送信はできるだけ避け、送信する場合は事業所の短縮登録を使用し、2名体制でおこなう。

報告④：極力、郵送にて対応致しました。

FAX を使用する場合は必ず2名体制で宛て先等確認し、送信記録簿にチェックをしました。

計画⑤：郵送物の確認は2名体制で行います。

報告⑤：郵送物は、必ず郵送前に他の職員に中身の確認を依頼しています。

計画⑥：個人のデータに関わる情報の入力、他の職員のチェックを受ける。

報告⑥：データの入力後、誤りがないか第三者のチェックを必ず実行しました。

★書類の施錠管理、個人情報の持ち出し原則禁止、机上整理など徹底しました。

★ 事務所内に横浜市個人情報保護に関する条例等を置いて、いつでも職員が再確認出来るようにしてあります。

キ 情報公開への取組について

計画①：開示請求への対応：積極的に開示を行います

報告①：今年度開示請求はありませんでした。

計画②：ホームページ・広報紙による情報提供に努めます。

報告②：ホームページは貸館空き情報の更新や自主事業のチラシ更新をしました。広報誌は隔月定期的に発行：関係団体、関係機関、事業所、利用者、地域のスーパー、薬局、医療機関などに配布しました。(今年度：12,235部発行)

計画③：事業報告書・計画書などは閲覧可能ファイルで公開します。

報告③：情報ラウンジにファイルを置き、自由に閲覧できるようにしました。第三者評価・苦情内容なども同様にしました。

★横浜市イベントカレンダー・横浜市ホームページに施設情報を公開しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

計画①：ヨコハマ3R夢プランに基づきゴミを減らす。また資源の再利用・ゴミ分別に取り組みます。

報告①：リデュース：ゴミの排出を抑制する→ひとつの物を長く使う、無駄な物を購入しない等を心掛けています。

リユース：何回も繰り返し使う→使い済み封筒やコピー用紙の再利用など継続しました。

リサイクル：分別して再資源とする→分別の徹底：弁当空き容器の持ち帰りを励行しました。

計画②：地球温暖化への取り組みを行います。

報告②：夏、冬のエアコン温度設定の適正化に努めました。

使用していない廊下などの消灯：トイレ・相談室の蛍光灯を外すなど節電に努めました。

冷暖房のこまめな室温調節を行いました。

★エコキャップ回収の継続

- ・ 27年7月16日(44名参加)ボランティアの協力で選別作業を行い、63,554個(ポリオワクチン 73.9人分)になりました。

近隣の障害者施設の通所者の方が職員とともに昨年同様参加して下さいました。地域の方にこの事業が定着し定期的に届けてくださる方が増えました。

★プルタブ回収今年度 21.0 キログラム回収しました (800キロで車いす1台分)

★古切手回収の継続→地域の方々の協力で集めていただき、未開発国への医療従事者派遣活動団体に送りました。

地域の方や事業所の方が古切手を届けて下さいました。

「ボランティア会」として定着し作業後は交流会を行いました。地域の障害者施設からも参加があり、途上国へのポリオワクチン代の協力やエコ啓発だけでなく、地域の方達の交流の機会となりました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤）
介護予防プランナー	1名（常勤兼務）

《目標》

27年度の地域包括支援センターの全体目標

- ・社会資源の情報を更新・整理し最新の情報を提供できる。
報告→情報ごとにファイルし、インフォーマルサービスや自費のサービスについても最新の情報が提供できるよう今後も努めていきます。
- ・ケース会議を行い、情報の共有化を図り支援方法をチームで検討する。
報告→相談内容や経過を出勤職員で確認し、シフトで休みであっても対応できるように努めました。
- ・地域の会合や催し事に積極的に出向き「顔の見える関係」「信頼できる関係」をつくる。
- ・地域のニーズに合った、出張講座事業の実施継続。
報告→食事会や高齢者住宅の交流会、民生委員児童委員協議会にて介護保険の説明や介護予防消費者被害についての普及啓発を行いました。
- ・第2期南区地域福祉保健計画：地区別計画に沿った自主事業を地域との連携を図りながら行う。
報告→地域の取り組みの活性化に向け地域活動交流と連携を図りながら自主活動に向けての支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 各々の職種がもつ専門的知識を更に向上するよう外部研修を受講し、伝達研修などで共有することで3職種4業務の対応能力向上に努めました。
- 委託事業所のケアマネジャーとの連携を強化し担当者会議に出席しました。事業者の選択は資料を提示し利用者・家族と相談の上、公平中立に行いました。

《利用者目標》

【単位：人】（委託を含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	182	177	175	179	179
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	180	187	187	180	179

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤兼務）
ケアマネジャー	2名（常勤）
ケアマネジャー	1名（非常勤兼務）

《内容》

- ・要支援・要介護認定の必要な方に対し、相談対応や介護申請の代行を行います。本人・家族の意向に沿って利用者が自立した日常生活を営めるよう、居宅介護支援計画書を作成します。
- ・区役所との契約に基づき認定調査を行います。
- ・特定加算事業所としての体制強化を目指します。
- ・困難ケースに積極的に取り組みます。
- ・計画的な研修参加及び伝達会議を毎週行います。
- ・地域包括支援センターが実施する事例検討会に参加します。

《目標》

- 短期目標
- ①積極的に研修を受講し、その後部署全体で振り返りや意見交換を行い、知識を深める。
報告→ 毎月1回は外部研修に参加し、その後の部署ミーティングにおいて研修報告（伝達研修）を行い共有し知識を深めることが出来た。
 - ②自身のケースやケアプランに対しての説明力をつける為、勉強会を継続し、資質の向上を目指す。
報告→ 特定加算事業所として毎週の伝達会議において、問題点の共有、説明力をつけるための勉強会を継続している。ケアマネジメント力を養い、部署内で共有することで、ケアプランの見直し、根拠に気付き、個別のケアプラン作成に繋がってきている。今後は課題整理総括票を用い更にニーズの把握、資質の向上を目指し、利用者へより適切な提案を行っていきけるよう継続していく。
- 長期目標
- ①地域包括支援センターとの連携を深める為、連携会議や事例検討を行う。
定期的に開催する。（地域ケア会議への協力）
報告→ 毎月1回、地域包括支援センターと居宅介護支援センターの全職員で会議を開催し情報の共有を行うことが出来た。事例検討については、情報共有程度のものしか行えず困難事例について深く検討する会議は開催できなかった。今後、地域包括支援センターに働きかけ、事例検討会を開催出来るよう努力していく。
 - ②医療機関及び関係者との連携を図る。近隣の医療機関に出向き、協力医とのコミュニケーションを図る。（住み慣れた地域で、医療・介護が連携し一貫したサービスが受けられる体制づくりに努める）
報告→ 医療拠点主催の多職種連携研修に参加。また近隣医、訪問看護事業所との連携、相談を行うツールが徐々に身につけて来ている。今後も多職種連携にかかわり、業務を行なえるよう努力していく。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 利用者負担はありません。
- サービス提供地域を超える地域への訪問等を行う必要がある場合は、その交通機関の運賃実費の負担をお願いする場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域の社会資源の情報提供（睦地域ケアプラザの広報誌やチラシの案内）を行い利用者やご家族の社会参加を促しました。
- ・介護保険外サービス（配食サービス、ちょこっとボランティア）などを居宅介護支援計画書に位置づけました。
- ・虐待ケース及び困難ケース等は地域包括支援センター、区役所など関係機関と連携し、利用者及び家族の支援を行いました。
- ・民生・児童委員や地域の方々との連携に努め「顔の見える関係」を構築しました。
- ・他事業所のケアマネジャーや他サービス事業所との連携に努め情報交換、情報の共有化に努めました。
- ・南区介護支援専門員連絡会の会員継続及び、研修に参加しました。

《利用者目標》

報告→ 利用者目標は120名としたが、下記のとおり、目標に達することができなかった。新規依頼を断ってはいないが、施設入所、長期入院、死去される方が多く、ケアマネジャー一人の担当上限35名には至らなかった。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
113	114	113	109	109	106
10月	11月	12月	1月	2月	3月
109	113	110	114	110	111

● 通所介護事業《提供するサービス内容》

- 単独型通所介護（7時間以上9時間未満）
- 介護に関する相談援助、看護師による健康状態の確認、送迎、食事などの提供（おやつを含む）、入浴、個別運動、集団レクリエーション、全体体操、創作活動、介護サービス（移動や入浴・着脱、排泄介助、食事介助や見守り、口腔ケア等）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	704円/回
（要介護2）	831円/回
（要介護3）	963円/回
（要介護4）	1095円/回
（要介護5）	1227円/回

● 食費負担 700円/回（おやつ代込）

● 加算	入浴加算	54円/回	
	サービス提供加算Ⅰ	13円/回	
	介護処遇改善加算Ⅰ	所定単位数の40/1000	加算/月

《事業実施日数》 週 6 日 日曜日及び12/29～1/3を除く

《提供時間》 9 : 30 ~ 16 : 35

《職員体制》

管理者	常勤	1名		
生活相談員	常勤	3名	非常勤	3名
介護職員	常勤	3名	非常勤	15名
看護職員			非常勤	3名
管理栄養士			非常勤	1名
調理職員			非常勤	6名
送迎職員			非常勤	5名

《目標》

短期目標：職員間の連携を密にし、ご利用者の満足度を上げることに努める。
 ご利用者の基本情報や支援目標を共有する。
 支援者としての知識の向上の為に研修に参加し、フィードバックを行う。

長期目標：居宅サービス計画書、通所介護計画書、アセスメントを理解し、専門的視点からサービスが提供できる。
 認知症に関する正しい知識と理解を深め、認知症ケアの充実を図る。

《その他(特徴的な取り組み・PR など)》

- ・ 災害時の避難訓練を毎月実施する
- ・ 地域ケアプラザと合築しているデイサービスの為、地域ケアプラザとの連携を意識し、地域福祉に貢献をする。

利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
556	559	556	563	534	542
10月	11月	12月	1月	2月	3月
577	522	526	468	484	583

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 単独型介護予防通所介護（7時間以上9時間未満）
- 介護に関する相談援助、看護師による健康状態の確認、送迎、食事の提供（おやつを含む）、入浴、個別運動、集団でのレクリエーション、全体体操、創作活動、介護サービス（移動介助、入浴・着脱、排泄介助、食事の見守り、口腔ケア等）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》 （27年3月末まで）

● 1割負担分

（要支援1） 1766円/月

（要支援2） 3621円/月

● 食費負担 700円（おやつ代込）

● 加算

サービス提供体制強化加算Ⅰ-1 52円/月

サービス提供体制強化加算Ⅰ-2 103円/月

介護処遇改善加算 所定単価数の40/1000 月

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30 ～ 16：35

《職員体制》

管理者	常勤	1名		
生活相談員	常勤	3名	非常勤	3名
介護職員	常勤	3名	非常勤	15名
看護職員			非常勤	3名
管理栄養士			非常勤	1名
調理職員			非常勤	6名
送迎職員			非常勤	5名

《目標》

短期目標：職員間の連携を密にし、ご利用者の満足度を上げることに努める。
 ご利用者の基本情報や支援目標を共有する。
 支援者としての知識の向上の為に研修に参加し、フィードバックを行う。

長期目標：居宅サービス計画書、通所介護計画書、アセスメントを理解し、専門的視点からサービスが提供できる。
 認知症に関する正しい知識と理解を深め、認知症ケアの充実を図る。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・災害時の避難訓練を毎月実施する
- ・地域ケアプラザと合築しているデイサービスの為、地域ケアプラザとの連携を意識し、地域福祉に貢献をする。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
72	63	66	73	65	69
10月	11月	12月	1月	2月	3月
82	79	84	83	80	77

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・児童・障害分野への対応）

計画① 高齢者、障害児・者、児童分野からの多種多様な相談に応じることが出来る様に職員間の連携、情報の共有化、研修受講、社会資源の把握等を今年度も継続して行います。

報告① 職員全体で、相談・支援に取り組む様意識をしています。地域の関係機関やイベント等の情報を共有する様に努めています。

計画② 広報誌やホームページ等を活用し、ケアプラザの相談機能についての説明や、幅広い分野に対応した活動を行っている事を周知していきます。

報告② 広報誌は隔月で発行し、ホームページの情報も適宜更新しています。

計画③ 区社会福祉協議会、行政、関係機関等との連携に努め、関係者間で協力しながら多様な相談に対応出来るような体制づくりをしていきます。

報告③ 関係機関とは常に連携し、地域の繋がりを重視した取り組みを心掛けました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

計画① 両部門の専門性を生かした自主事業を企画・実施する等、協働での取り組みを継続します。

報告① 町内会の食事会などで地域包括支援センター・地域活動交流部門が協働で、介護保険関連の情報提供や介護予防に関する講話などを行いました。また認知症の啓発を目的とした「睦オレンジ」という会合を発足させ、定例会と養成講座を共催で開催しています。

計画② 毎月両部門で合同会議を行い、計画的に事業や地域への参加ができるように企画・調整をしていきます。

報告② 毎月両部門合同の会議を開催し、地域の各種イベントや事業の情報収集を行い、職員が参加できる様調整しました。

計画③ それぞれの部門で把握している情報や課題等は両部門間で共有をし、協働で課題解決やニーズの把握に向けた取り組みを行います。

報告③ 地域包括支援センター職員が地域活動交流主催の事業に参加する場合は、あらかじめ参加者情報を摺り合せておく等、細かい対応を心掛けました。

3 職員体制・育成

計画① ケアプラザ実施要綱に基づき、欠員無く職員配置をします。

報告① 適切な職員配置に努め、欠員が出た場合は、速やかに補完をする様に努めました。

計画② 職員育成の一環として毎月職員会議内で、研修受講をした職員が講師役となり、振り返り研修を行います。

報告② 研修受講をした職員が研修内容をフィードバックし、知識や情報の共有化を図りました。

計画③ 職員の勤続年数や階層別に研修を計画し、新人職員から管理者まで幅広く受講

できる様に組み立て、人材の育成に繋げていきます。
報告③ 法人内の階層別研修を活用し、職員のレベルや知識に合わせた育成手法を行っていきます。

4 地域福祉のネットワーク構築

計画① 地域のネットワーク構築のため様々な会議（町内会長会議、地区社会福祉協議会会議、民生児童委員会会議、友愛活動推進員会議、地区別計画企画会議等）に参加し、顔の見える関係作りに努めます。

報告① 地域で開催される会議の中で、ケアプラザの役割や仕組みを説明する機会を頂き、ケアプラザの PR に努めました。27 年度は、新たに堀睦連合婦人部の会議に出席させて頂き、定期的な開催を行う様に提案致しました。

計画② 様々な地域課題に対応できるように「むつみ見守りネットワーク連絡会」を開催し、緩やかな地域の見守り活動の展開を目指します。

報告② 「むつみ見守りネットワーク連絡会」をより身近なものとする為の検討会を開催しました。28 年 5 月には、堀睦を明るくする会（仮称）という地域住民との対話の会を開催予定です。

計画③ 地域の防災拠点会議や防災訓練に参加し、防災を通じた地域との連携にも努めていきます。

報告③ 防災拠点の避難訓練の他に町内会で開催している防災訓練にも参加し、防災を通じた地域連携に努めました。

計画④ 地域住民が集う為の場所づくりとして、高齢者サロンの創設に向けた準備会や子育てサロンの支援を進めていきます。

報告④ 地区社会福祉協議会開催の子育てサロンに情報提供やチラシの作成、イベント協力等を行い、適宜区役所・区社会福祉協議会と連携しながら進めました。高齢者サロン創設に向けて必要な情報の提供などを行い、第 3 期地域福祉保健計画に結び付くように支援を行いました。

計画⑤ 地区社会福祉協議会の様々な事業、会議、催し、広報誌発行などの協力を継続し、住みやすい街づくりに向けた活動を共に行っていきます。

報告⑤ 地区社会福祉協議会の会議に参加し、パソコンによるチラシ作り・広報誌作りについて、技術的なアドバイスをを行い支援しました。作成した広報誌はケアプラザにも配架し、地域の方の目に触れるように努めました。

5 区行政との協働

計画① 第2期地域福祉保健計画や南区区政運営方針などに基づき、区及び区社会福祉協議会と地域の実情を踏まえた「街づくり」に向けた連携を行います。

報告① 南区役所、南区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会と協力しながら事業の展開を行いました。ケアプラザは事務局として、関係機関を繋ぐ役割を果たしました。

計画② 自主事業の情報共有、運営にあたっての相談及び内容検討を行います。

報告② ケアプラザの自主事業については、人口推移のデーターや地域のアセスメントシートなどを行政と協働で読み取り、地域に合ったものとなるように開催しました。

計画③ 地域包括支援センターで関わる困難ケース等の個別支援は、毎月の区との定例会や支援会議で情報共有や支援の方向性を検討します。

報告③ 毎月1回、定例カンファレンスを開催し、ケースの検討や地域にまつわる情報等の共有を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 計画① ケアプラザの事業や福祉保健活動の内容を掲載した広報紙を隔月発行し、様々な情報を地域の方々に提供します。広報紙・チラシを地域の食事会やその他のイベントに持参したり、ホームページや町内会掲示板の掲載を行います。来館者、貸館利用者、自主事業参加者、スーパー・薬局・エリア内医療機関・障がい者関連施設などへ配布し、多くの方に見て頂けるように工夫します。
- 報告① 広報紙を隔月で発行（27年度は12,185枚）しております。内容としてケアプラザ自主事業の告知や地域のイベントの報告などケアプラザと地域の情報を掲載しています。地域包括支援センターからのお知らせも掲載し、生活や介護に役立つ情報も提供しております。地域で開催の食事会やイベント時に持参し配布させて頂いたり、連合町内会会長会にて回覧依頼も行っています。チラシに関しては、期限を定め掲示板の掲載依頼を行っております。近隣の人が集まる薬局・商業施設・福祉施設にも配布依頼を行っています。
- 計画② 地域のイベント、祭礼、運動会、町内会長会議等に出掛け、地域の課題等の情報提供と情報収集を行っていきます。
- 報告② 地域で行われるイベントに参加した際に多くの情報が聞き取り出来る様に、こまめにコミュニケーションを図り、必要とされるニーズの聞き取りが行いやすくなるように努めました。
- 計画③ 町内会館・高齢者マンションなどへ出向き、出前講座を行なうことで、情報提供及び情報収集に役立てます。
- 報告③ 食事会や高齢者マンションに地域包括支援センター職員と出向き、マイナンバー詐欺の紙芝居や冊子を作成し、ミニ講座を行いました。ケアプラザの役割について周知活動を行うとともに、地域の情報収集も行いました。
- 計画④ 貸し館団体交流会を継続し、各団体の活動紹介などを通して団体間のネットワーク作りと交流の場の提供を行います。
- 報告④ 毎年行っている貸し館団体交流会ですが、内容がマンネリ化しない様に、参加団体の意見を取り入れながら実施しております。今年度は新規登録団体や更新時期にあたった団体を中心に、利用方法についての説明を重点的に行いました。団体同士の交流に関しては、エコキャップボランティア会の場を活用しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 計画① 地域のニーズを把握し、必要な自主事業を地域に寄り添い実施していきます。
- 報告① 堀睦地区社協：「高齢者の集まれる場作り」蒔田地区社協：「障がい者と地域の関わり」を重点目標とし、必要と思われる情報提供や具体案の提供を行いました。蒔田地区においては、28年度開催の高齢者サロンにて、障がいのある方が地域サロンにて工作の講師を行うことが決定しました。堀睦地区では、第三期地域福祉保健計画に高齢者が集まれる場の創設を計画に含めて頂ける事になりました。
- 計画② 貸し館状況の空き情報は常に更新し、受付カウンターとホームページに開示していきます。
- 報告② パソコンの閲覧を苦手とする高齢世代には紙面を見て頂ける様にし、若い世代にはホームページで閲覧できるように適宜情報更新を行い、多くの世代に情報提供できるよう工夫しました。

計画③ 多くの方々が快適に施設を利用して頂けるように、施設内外の整備や職員の接遇、育成を行なっています。

報告③ 毎朝、職員による環境整備と専門業者による定期的な清掃で施設の清潔維持を行っています。接遇に関しては、気付いた時に職員同士で注意しお互い気を付けるように心がけています。

計画④ 地域の方が貸館利用を行いやすくなるように、定期的に貸館利用の手引きを見直し、団体同士のトラブル等なく運営をしています。貸館登録団体交流会とボランティア会を開催して、活動紹介や各団体間のネットワーク作りの場を提供していきます。

報告④ マニュアルの一部変更を行いました。27年度は大きなトラブルは無く運営する事が出来ました。団体同士のネットワーク作りに関しては、コミュニケーションボードを活用しチラシを掲載して頂いたり、講座の講師を依頼するなどして交流を目指しました。

3 自主企画事業

計画① 地域のサロン・自主活動グループの後方支援を継続していきます。地域のサロンに同調した事業を展開していきます。

報告① 地域の子育てサロンが活性化できる様に、ケアプラザの自主事業として行っている子育て広場の中で情報提供を行う等、相互作用が生まれるような支援や取り組みを行いました。

計画② 住民が参加しやすく、地域活動の担い手育成となる自主事業の企画を地域のニーズに沿って進めていきます。

報告② 地域の方が参加しやすいように地域住民を講師とする「達人の知恵講座」を開催し、ホウ酸団子作りや味噌作りを行いました。また異世代交流事業として、「牛乳の科学」講座を企画し、児童やその保護者の方が参加して下さいました。

計画③ 自主事業参加者にボランティア活動への参加を促します。

報告③ 自主事業の参加者の中で、ケアプラザ事業のボランティアに適していると思われる住民の方へは、積極的に声を掛け協力をお願いしています。

計画④ 地域包括支援センターと協働で地域の会館などに出向き、出前講座を行います。介護者の集い、認知症サポーター養成講座、高齢者支援の講座を協働で行います。

報告④ 地域の食事会や地域主催のサロンに地域包括支援センター職員と共に出向き、ケアプラザ事業の案内や取り組みの紹介を行いました。また紙芝居を活用した消費者トラブルの手口の説明や介護予防サポーターに食事前の口腔体操を実演して頂きました。

計画⑤ むつみ見守りネットワーク事業の継続を行います。

報告⑤ 今年度はむつみ見守りネットワークの在り方を検討する為の会議を開き、次年度以降、地域住民の意見を広く吸い上げる試みを行う予定です。

計画⑥ 閉じこもりがちな高齢男性の支援に向けた、自主事業の企画を検討します。

報告⑥ 男性が活動しやすい小破修繕の講座や男性の料理教室を開催しましたが、自主的に活動を行うという状況まで展開することは出来ず、次年度以降の課題となりました。

- 計画⑦ 子どもから高齢者まで幅広く参加出来る講座を企画し、異世代交流を行います。
- 報告⑦ 異世代交流事業として、子どもから高齢者まで楽しめる「バター作り」教室を行いました。小学生とその保護者、高齢者まで多世代の参加がありました。
- 計画⑧ 近い将来の超高齢化社会に向けて、高齢者の居場所作りに繋がる事業を行います。
- 報告⑧ 堀睦地区の高齢者サロン創設、蒔田地区の高齢者サロンの発展を目的に平成27年度より体操と脳トレを組み合わせた事業「いきいきシニア塾」を開始しました。複数の講師の方を招へいし、講師ごとに異なる講座を企画しました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- 計画① 地域で活動しているボランティアの方々に、ケアプラザ自主事業・ケアプラザ祭りなどへの協力を依頼、活動支援、育成を支援していきます。
- 報告① 地域住民の方と貸し館団体からボランティア募集し、ケアプラザ祭りや自主事業の担い手となって頂きました。
- 計画② ボランティア団体・個人ボランティア同士の交流を図り、ネットワーク化を目指していきます。
- 報告② エコキャップボランティア会を通じて、ボランティア同士での交流が持てるように努め、多くの方に参加していただく事が出来ました。
- 計画③ 初めてのボランティア活動に参加するきっかけとして、ケアプラザ祭りやボランティア会に地域の方の協力をお願いしていきます。
- 報告③ ケアプラザ祭りやエコキャップボランティア会に自主事業参加者や貸館団体の参加者に声を掛け、地域活動に参加する為のきっかけとなるように働きかけを行いました。
- 計画④ 医療系専門職の実習等を積極的に受け入れ、ボランティア育成を目指します。
- 報告④ 平成27年12月10日に看護学校の実習生の受け入れを行いました。ケアプラザの機能や取り組み状況について講義をしました。
- 計画⑤ 近隣の事業所と協力しボランティア講座などを企画して、新たなちょこっとボランティア団体の立ち上げに繋げていきます。
- 報告⑤ ボランティアに携わる人材を増やしていけるように企画をしましたが、実現には至りませんでした。
- 計画⑥ 地域の要望に応じ、ヨコハマシニアボランティア育成事業の研修を継続します。
- 報告⑥ 今年度は、地域からの要望が無かったため開催には至りませんでした。
- 計画⑦ 区社会福祉協議会と連携して、小・中学校での福祉教育の実施を目指します。
- 報告⑦ 共進中学校にて地域包括支援センターと協働し職業講話を行いました。次年度にも繋がる活動へ展開させることができました。

地域包括支援センター

1 総合相談

総合相談支援（総合相談）

- 計画①：初回相談受付後の支援経過およびその後の経過記録は（導入したサービス事業所・関係機関等も含む）職員間で回覧、相談内容を把握することで、受付者不在でも他職員が相談対応できるように努めて参ります。
- 計画②：地域ケアプラザ全体で相談・支援に取り組んでいけるように、部所間のミーティングや記録の共有をし、職員間の連携に努めていきます。
- 報告①②：毎月部署間で行われるミーティングにおいて、相談内容の把握・社会資源・地域の行事や自主事業の情報共有を行い、地域ケアプラザ全体で協力して地域支援に取り組みました。相談受付職員が不在時も日報に引継ぎ事項を記載し対応に不備がないよう努めました。
- 計画③：社会資源の情報やマニュアルを整理し、共有することで、各職員が相談の際、同じ対応ができるように努めていきます。
- 報告③：介護保険サービスやインフォーマル・自費サービスについて情報を更新し、ミーティングでも情報共有し相談対応に偏りが無いよう努めました。
- 計画④：相談内容に応じて、区役所や専門機関等適切な関係機関につなぎます。
- 報告④：関係機関に速やかにつなぐとともに、困難ケースについては毎月区と行うケースカンファレンスで支援の方向性や対応について検討しました。
- 計画⑤：民生委員や関係機関から受けた相談について、対応後の経過を必ず報告し、連携の強化に努めます。
- 報告⑤：民生連絡カードに経過を記載し、民生委員児童委員協議会の際配布し連携強化に努めました。
- 計画⑥：相談内容をデータ収集し課題の分析を行い、地域ケア会議のケース選定に役立てていきます。
- 報告⑥：独居高齢者の増加に伴い、地域の見守りについてケア会議の開催を行いました。

地域包括支援ネットワークの構築

- 計画①：地域包括支援センター3職種（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）と地域活動交流職員の4職種が情報を共有して問題解決に向け連携することで、ネットワークの構築を図っていきます。
- 報告①：地域の社会資源の状況把握に努め4職種で情報共有しました。
- 計画②：地域の保健・医療・福祉など様々な機関・組織・社会資源を活用して地域支援事業を行なっていきます。
- 報告②：食事会や老人会、高齢者住宅の交流会に出向き、地域包括支援センターの活動の周知やミニ講座を行いました。
- 計画③：地域の社会資源の把握や創設に向けての地域課題の情報共有を行います。（地域に不足してる高齢者サロン・ボランティア活動等）
- 報告③：今年度は地域の活動の情報収集にあたり、次年度から地域住民とともに検討する場を設けていきます。

計画④：エリア内の医療機関・薬局・介護サービス事業所・施設・障害関係施設との連携を図りながらネットワークを構築していきます。
 報告④：隔月発行の広報紙を配布しながら、情報収集や提供を行うとともに関係機関の運営推進会議等や南区在宅医療ネットワークに出席し、事例検討会に向けて意見交換を行いました。

実態把握

計画①：総合相談の相談経路、相談者、内容などの分析から課題を抽出し、地域性を把握していきます。

報告①：

〈相談件数〉実数 356件（前年度 352件）
 延べ件数 1079件

〈相談者〉

家族	43.8%
本人	13.8%
区役所	11.5%
在宅サービス事業者等	10.4%
地域住民	7.3%
施設・医療機関	6.2%
その他	7.0%
合計	100.0%

〈相談内容〉

介護保険	81.9%
施設入所・入院	6.7%
インフォーマルサービス	4.0%
介護・医療	6.7%
権利擁護	3.5%
虐待	1.2%

（表1）人口に占める相談実数の割合

町名	人口に占める相談実数の割合	人口
堀ノ内	1.7%	3834
睦	1.4%	2571
蒔田	1.5%	3991
東蒔田	2.8%	1661
共進	1.6%	1602
榎	1.7%	1551
宿	2.2%	1870
花之木	1.8%	822
宮元	0.8%	2086
エリア	1.7%	19988

（表2）独居および高齢者世帯の割合

町名	相談実数に占める独居者の割合	相談実数に占める独居及び高齢者世帯の割合
堀ノ内	25.8%	42.4%
睦	34.3%	45.7%
蒔田	40.0%	50.0%
東蒔田	14.9%	42.6%
共進	26.9%	42.3%
榎	46.2%	61.5%
宿	54.8%	71.4%
花之木	53.3%	73.3%
宮元	52.9%	58.8%
その他・不明	18.2%	22.7%
平均	34.6%	49.7%

計画②：独自様式によるアンケート調査（利用者満足度調査・自主事業ごと）を実施します。

報告②：独自様式によるアンケート調査（利用者満足度調査・自主事業ごと）を行い、抽出した要望を基にH28年度事業計画を作成しました。

2 権利擁護

権利擁護（権利擁護）

計画①：成年後見制度・権利擁護について、サービス事業所・ケアマネジャー向けの学習会を行います。

計画②：「元気なうちに老後の自分や家族を守る」をテーマに、相続や遺言・金銭管理について地域住民向けの講座を継続して開催します。

報告①②：「古い支度講座」を地域住民・ケアマネジャー向けに行いました。講座終了後個別相談会を実施しました。

計画③：消費者被害防止のため、国民生活センターや消費者生活総合センター、警察から入手した新しい悪徳商法手口について地域住民、介護保険事業者等に発信していきます。情報ラウンジに見やすいようにファイルし、来館者に情報提供します。

報告③：情報ラウンジにファイルし、来館者に情報提供するだけでなく老人会の食事会で自家製紙芝居を活用して消費者被害防止を目的としたミニ講座を開催しました。

権利擁護（高齢者虐待）

計画①：高齢者虐待予防の為、行政機関と共に定期的な勉強会を行います。

計画②：行政機関と協働で地域のサービス事業者向けの講演会を開催し、高齢者虐待の対応強化（早期発見・早期対応）に努めます。

報告①②：区と共催で研修・勉強会を開催。新任ケアマネジャー研修においても、「虐待の疑い」から情報提供を求め、区・地域包括支援センターの役割を周知しました。

計画③：虐待についての相談があった場合は、南区版高齢者虐待相談受付票を利用し、速やかに区役所と情報共有を行い、状態把握およびカンファレンスを開催し対処します。

報告③：虐待の事例について相談があった場合は、虐待相談受付票を使用し速やかに区と情報共有を行い、カンファレンスを開催し支援方針の検討を行いました。また、虐待予防の観点から介護者の集いを毎月開催しました。自主化していますが、毎回職員も参加し運営の後方支援を行っています。

権利擁護（認知症）

計画①：認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、認知症の普及啓発のためのボランティア育成や、地域のキャラバンメイトと共にサポーター養成講座開催に取り組んでいきます。

報告①：地域住民・中学校向けにサポーター養成講座を行いました。地域住民がキャラバンメイトの研修を受講し、新たな担い手となったため今後の活動に向け「陸

オレンジ」という会を結成しました。

計画②：認知症担当部会へ参加し、区役所や他の地域包括支援センターとの情報共有をして、協力していきます。

報告②：認知症担当部会に参加し、区内認知症関連の事業の計画、実現に向けた話し合い・情報共有を行いました。また、中村地域ケアプラザ、浦舟地域ケアプラザと協力しレインボーフェスタにて認知症コーナーを設けました。

計画③：徘徊認知症高齢者対応（あんしんネットワーク）の普及啓発をし、認知症高齢者が行方不明になった際の早期発見を目指します。

報告③：今年度はエリア内新規登録が4件ありました。民生委員児童委員協議会の中で普及啓発すると共に、新規登録者については書類の受付だけでなく訪問を行い、地域の協力を得られるよう支援しました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

計画①：介護予防事業実施時に、二次予防事業対象者の把握に努めます。

計画②：「お元気で21健診」を地域の食事会やサロンで実施することで、二次予防事業対象者の把握に努めます。

報告①②：「お元気で21健診」において区版4ヶ所に参加、地域包括支援センター版1回、出張版1回を開催し二次予防事業者を把握し、必要なサービスや事業の案内を行いました。

計画③：地域住民向けに病気予防のための講座を実施します。

報告③：地域住民向けにケアプラザ協力医による講座「脳卒中予防」、「在宅医療」を開催しました。介護予防教室にて「ロコモティブシンドローム」予防のための運動教室を行いました。

介護予防ケアマネジメント力

計画①：二次予防事業対象者・要支援者に対し、目標指向型のケアマネジメントを行い改善・向上・自立に向け支援していきます。

計画②：介護保険の制度改正に向けて情報収集を行い所内で情報共有します。

計画③：介護保険制度外の社会資源を組み込んだ介護予防支援計画書を作成します。

報告①②③：月1回以上地域包括支援センター内でミーティングをおこなっており、利用者の情報共有・予防プランのマネジメントについて話し合いを行いました。介護保険の利用だけではなく、社会資源を取り入れたケアマネジメントの作成に努めました。

計画④：委託を行うケアマネジャーとの連携強化のため、ケアマネジャー連絡会に積極的に参加します。

報告④：ケアマネジャー連絡会に参加するとともに、担当者会議に出席し適切なマネジメントが出来るようアドバイスをしました。

計画⑤：区・他の地域包括支援センターと協働で介護予防支援事業者研修を実施します。

報告⑤：8地域包括支援センター合同での実施を計画しておりましたが、実施にはいたりませんでした。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

計画①：地域の会議や食事会等で介護保険や権利擁護・介護予防についての講座を継続して行い、地域包括支援センターの役割の周知に努めます。

報告①：食事会や老人会・高齢者マンションの交流会に参加し、ミニ講座の開催や周知活動に努めました。

計画②：地域の民生児童委員・保健活動推進員・友愛活動推進員・区役所・医療機関を交えた情報交換会やケアマネジャーとの交流会を行い地域のネットワークの構築に努めます。

報告②：民生委員児童委員協議会の会議には毎月出席し、介護保険の負担の変更や総合事業に向けての説明を行いました。

計画③：地域の実情や特性、課題を共有し「地域ケア会議」を開催します。

報告③：個別地域ケア会議にケアマネジャー・民生委員やサービス事業者等が参加し個別のケースを通して地域の課題を共有、意見交換を行いました。

計画④：地域の方に「見守りネットワーク」の周知、啓発を行います。

報告④：見守り活動を意識した展開を目指し、今年度は民生委員と話し合いの場を持ち、活動に協力してくれる人材やサークルの紹介をして頂きました。

計画⑤：広報紙に地域包括支援センターからの情報を掲載していきます。

報告⑤：隔月の睦通信に毎回記事を掲載しました。

医療・介護の連携推進支援

計画①：エリア内の調剤薬局・医療機関を定期的に訪問し、広報紙を設置していただき情報収集を行いケアマネジャー連絡会等で情報提供します。

報告①：エリア内の医療機関8ヶ所・調剤薬局6ヶ所を広報紙を配布しながら訪問。医師や薬剤師から介護保険の相談を受け、心配な人を地域包括支援センターに案内していただきました。

計画②：区内全地域包括支援センター・区・あったかネット南と協働で医療機関との研修を行います。

報告②：区、8地域包括支援センター共催の研修のほか中村地域ケアプラザと共催で在宅での看取りに関する研修を開催した。地域住民向けにケアプラザ協力医による講座「脳卒中予防」、「在宅医療」を開催しました。

ケアマネジャー支援

計画①：新任ケアマネジャーの研修を行い、支援します。

報告①：1名を長期にわたり担当し、ケースの同行訪問・担当者会議・施設見学や地域ケア会議の参加・インフォーマルサービスの情報提供を行いました。

計画②：エリア内の居宅介護支援事業所を定期的に訪問し、困難ケースの相談や情報交換を行います。

計画③：困難ケースは区役所・3職種（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）が連携し、サービス担当者会議に参加、訪問を行いケアマネジャーが一人で抱え込まないように支援します。また必要に応じて「個別地域ケア会議」に繋げ、地域住民と連携を図ります。

報告②③：定期的な訪問は継続しました。ケアマネジャーからの相談に関してはケー

スにより社会福祉士・保健師が同行訪問し専門的な視点でアドバイスをを行った地域ケア会議を開催することで地域との情報共有を行い、連携を深めることができました。

計画④：エリア内のケアマネジャーに参加を呼びかけ、ケアマネジャー連絡会において学習会や事例検討を行います。

報告④：区、8 地域包括支援センター合同でインシデントプロセス法を用いた事例検討を実施。ケアマネジメントに関する研修も開催しました。ケアプラザ協力医と小規模な学習会を開催、ケースの相談や在宅医療についての意見交換ができました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

計画①：地域の他職種による会議を開催する

報告①：個別ケース会議を2回実施。ケアマネジャー・医師・民生委員・サービス事業者等が参加し、独居高齢者の支援について会議を行いました。

計画②：地域での課題を民生委員児童委員協議会等の会議に提示し情報交換や研修を企画する。

報告②：地域ケア会議の課題を振り返り、近隣地区の民生委員の共有や今後社会福祉協議会においても地域住民の力を生かした企画を依頼しました。

介護予防事業

介護予防事業

計画①：地域で行われる「食事会」の中で、介護予防についての講座「こんにちはケアプラザ！」事業を実施します。

報告①：地域のサロン、食事会、高齢者住宅に出向き介護予防の必要性について伝え事業の案内をしました。夏場は熱中症講座を行いました。

計画②：地域の高齢者全般を対象とした「元気づくりステーション」の自主化となったグループの後方支援を行います。

報告②：「水曜歩こう会」開催時に訪問して様子を聞き取り、必要に応じて支援をおこないました。

計画③：昨年度、町内会館で行った介護予防教室の自主化に向けて活動していきます。

報告③：「金曜クラブ」という名称に決まり、毎月2回の活動に対し、区と協力し自主化に向け支援・見守りをしました。

計画④：二次予防事業対象者に向けた栄養改善、口腔ケア、認知症予防教室を開催します。

計画⑤：既存のウォーキンググループの維持発展のための、講座を開催します。

報告④⑤：ケアプラザまで来られない方向けに初めての会館で介護予防教室を開催しました。既存の団体の方も参加出来るよう、ケアプラザにて複数回介護予防教室を開催しました。

その他

- ・ 複合施設としてお互いに協力し、地域のための福祉・保健活動拠点として発展出来るよう努力します。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市陸地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	18,232	23,512	138				
	介護保険収入				5,486	20,000	64,500	5,480
	その他							
	収入合計(A)	18,232	23,512			20,000	64,500	5,480
支出	人件費	13,852	16,509			14,000	45,700	
	事務費	936	665			1,000	12,000	
	事業費	175	18	138				
	管理費	2,399	645					
	その他	64	913					
	施設使用料相当額	9	2					
		4	756					
		51	155					
	支出合計(B)	17,426	18,750		0	15,000	57,700	
	収支 (A) - (B)	806	4,762	0	54,867	5,000	6,800	5,480

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度自主事業報告書：横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア塾	体を動かす事と脳トレを組み合わせた、介護予防的な構成での講座を行う。回により違う講師を招く事で自分に合った講師を見つける機会とする。高齢者が集まるサロンとしても行い、警察、消防などの公的機関からの講座も組み込めるようにする。高齢者を対象に介護状態にならない元気な体づくりと認知症を予防するための脳トレを組み合わせで開催。	27年度 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
9周年祭	地域の方々の参加を促しケアプラザの事業・役割の宣伝を行いました。当日参加できない方は貸し館利用時に協力して頂きました。27年度は、堀睦地区社協・蒔田地区社協の他に単一町内会にも協力して頂きました。例年通り多くの来場者がありました。	27年10月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための料理教室	主な参加者を定年退職した男性として開催。楽しみの一つとして料理を取り上げる。仲間づくりや楽しみを外出のきっかけ作りとして、出掛ける事で引きこもりを防止する。1人になった時に自炊が出来るようになることも目的に開催。手早く完成するメニューで行い複雑さをなるべく感じさせない内容で開催しました。	27年度 6回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館団体交流会	貸館団体同士の顔の見える関係作りと書類の更新とケアプラザの使い方を改めて知ってもらう機会として開催。	27年度 2月開催

平成27年度自主事業報告書：横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レインボーキッズ	平成26年度より障がい児余暇支援事業として開始。知的障がいがある小学生を対象に、ダンスを通じてストレス解消と心身の成長を促すことを目的に行いました。	10回開催 97名参加

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エコ・リサイクル推進活動	貸し館利用者のボランティアの場の提供を目的としています。何をすれば良いのかわからないという声を受け毎年開催しています。多くの方の参加でエコキャップの選別・古切手の選別・プルタブの選別などを行います。自然と協力体制も生まれ交流の場としても機能しています。障害者施設からの参加もありました。	7月開催 44名参加

事業名	目的・内容	実施時期・回数
達人の知恵袋講座	地域の優れた技術を持つ方の生活の知恵が、継承されにくい実情がある。講座を通じて、若年層の地域住民に知識をお伝えしながら、異世代交流を図り地域住民同士が交流出来る場を目指しました。ホウ酸団子作り、味噌作り講座を開催しました。	5月 ホウ酸団子作り 2月 味噌作り講座

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	睦地域ケアプラザエリア内に子育てサロンが無かったことから、養育者が交流する場として毎月1回定期的に行う。参加者の意向を探りながら、講座開催、地域の子育てサロンの支援へ繋げる。祝日の開催には、父親の参加を目的に親子体操を取り入れています。27年度は特別開催として、親子で参加出来る防災講座を行いました。	毎月第3月曜日開催 2月 防災講座 7月・9月・3月 親子体操

平成27年度自主事業報告書：横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁クラブ	囲碁ボランティア活動を行い地域の方との交流および担い手の介護予防を目的としています。新しく参加する方にも優しく接して楽しく行われております。	毎月2回 24回開催 139名参加

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっとボランティア	地域の独居高齢者や高齢者世帯から、草むしりやゴミ出しの依頼を受け近隣の障害者施設からの派遣につなげています。当ケアプラザの職員がコーディネートを行っています。	27年度 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講座	地域住民向けにケアプラザ協力医による講座を開催。「脳卒中予防」「在宅医療」。中村地域ケアプラザと共催で「病院や施設ではなく自宅で死を迎えることを考える」を開催。在宅医療の基本的な知識を得るきっかけとなりました。	27年度3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	ケアプラザ協力医と小規模な学習会を開催、担当している利用者の相談や在宅医療についての意見交換を行いました。	27年度6回開催

平成27年度自主事業報告書：横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こんにちはケアプラザ！	高齢者住宅の交流会や地域の食事会等で介護保険・介護予防・消費者被害防止を目的としたミニ講座を行いました。終了後個別相談にも対応しました。	27年度12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老後の備え講座 ～金銭・財産管理編～	認知症などで金銭管理が難しい高齢者について利用できる制度（成年後見やあんしんセンター等）の周知を、地域住民・ケアマネジャー向けに行いました。	27年度1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
むつみ茶屋 後方支援	地域のボランティアが立ち上げた、異世代交流を兼ねた食事処となっています。エリア外の親子の参加や地域の高齢者や障害者施設から食事に来ています。立ち上げ時からの支援の継続で見守り支援や運営の相談を受けるなどの後方支援しています。今年度より障がいのある方が担い手ボランティアとして参加のため、行程の見直しなどを行い、担い手と障がいの双方がうまく活動出来るような支援を行いました。	毎月2回開催 27年度 21回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あじさいの会 後方支援	地域のボランティアが立ち上げた配食グループです。利用者の様子についての相談を受ける事もあり、地域包括支援センターにつないでいます。継続して後方支援を行っています。	毎週月曜日開催

平成27年度自主事業報告書：横浜市睦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がいのある方と地域の交流事業	障がいのある方が地域のサロンなどでのボランティア活動を通じて地域住民との交流を深める。長所を活かしての活動を通じて新たな可能性を見つけます。	蒔田地区高齢者サロン 年間10回 むつみ茶屋 年間21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食育講座	離乳食の正しい作り方を学び、インスタント食品に頼らない健康的な食生活をPRすることを目的に開催。南区と南区ヘルスメイトと共催で行いました。大人の食事と同時に作る方法や正しい出汁の取り方を見本を見せながら説明しました。	27年 11月開催 親子17組

事業名	目的・内容	実施時期・回数
異世代交流事業	地域の高齢者から若者までが同じ講座に参加することをきっかけに地域住民同士が知り合い交流する関係作りを目的に開催。27年度は、牛乳の科学を開催。牛乳が出来るまでの仕組みの説明と牛乳を加工する変化の行程を実体験することで学びました。	27年 8月開催 大人 19名 子ども 17名

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
いきいきシニア塾	①地域の60歳以上	60,000	37,500	22,500	60,000	0	
	②360人						
	③なし						
第9回 ケアプラザ祭	①地域住民	27,453	27,453	0	8,979	0	18,474
	②500人						
	③なし						
男性のための料理教室	①地域住民	41,584	41,584	0	16,000	20,923	4,661
	②48人						
	③500円						
睦通信事業	①地域住民	24,474	24,474	0	0	0	24,474
	②なし						
	③なし						
貸し館団体説明会	①地域住民	738	738	0	0	0	738
	②30人						
	③なし						
レインボーキッズ	①障がい児	27,492	16,992	10,500	27,000	0	492
	②72人						
	③250円						
エコキャップボランティア会	①地域住民	375	375	0	0	0	375
	②40人						
	③なし						
達人の知恵講座	①地域住民	28,629	4,429	24,200	0	26,671	1,958
	②50人						
	③随時						
子育て広場	①養育者・未就園児	10,192	10,192	0	9,000	0	1,192
	②180人						
	③なし						
囲碁クラブ	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②400人						
	③なし						
ちょこっとボランティア	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②なし人						
	③随時						
医療講座	①地域住民・ケアマネジャー	20,000	0	0	20,000	0	0
	②60人						
	③なし						
	①	0	0	0	0	0	0
	②						
	③						
	①	0	0	0	0	0	0
	②						
	③						
	①	0					
	②						
	③						
	①	0					
	②						
	③						
		240,937	163,737	57,200	140,979	47,594	52,364